

市町村名	渡名喜村						
令和4年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	渡名喜村消防・急患搬送体制強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-イ	
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県づくりと防災体制 の強化		
事業内容	村民、患者及びその家族、消防団員等の新車両購入による迅速な消防・急患搬送出動態勢の強化及び車両整備の充実化の満足度を向上させるため、消防・急患搬送車の新車両の購入を行い、消防・急患搬送体制の強化を図る。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和6年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R4年度(繰越)			
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	15,730				
		(b)予算現額	12,843				
		(c)増減額(b-a)	▲2,887	0			
		(d)繰越額		12,843			
		A.計(b+d)	12,843	12,843			
	B.執行済額			12,843			
	うち交付金充当額			10,274			
	次年度繰越額		12,843				
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		指名競争入札による入札残2,887千円を減額した。また、世界的な半導体不足により機器の納品が大幅に遅れたため、事業費にかかる12,843千円を令和5年度に繰り越した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度				
	消防車及び急患搬送車両の整備	目 標	消防車及び急患搬送車両の整備				
		実 績	消防車及び急患搬送車両の整備完了				
		目 標					
		実 績					
達成状況説明	令和4年度に消防車及び急患搬送車両を整備し導入を完了した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度		目標値 (年度)	
	消防車及び急患搬送車両の導入	目 標	()	(導入)	()	()	
		実 績		導入完了			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	進捗状況説明	消防・急患搬送体制強化事業については、令和5年5月19日に導入が完了し、令和5年6月から供用が開始されている。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）													
	消防車両及び急患搬送車両導入後に、安全性が確保されたかどうかについて、消防訓練を実施し、効果を測定するものとする。	安全性が確保されたかどうかについて消防訓練を実施し、効果を測定するものとし2ヶ月に1回の消防訓練の実施を実施する。													
今後の取り組み方針															
消防車及び急患搬送車を活用した消防訓練を年6回以上実施し、医療提供体制や消防防災体制の強化を図る。															
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）															
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr><tr><th>充当額</th><th>市町村負担金</th></tr><tr><td>12,843</td><td>12,843</td><td>10,274</td><td>2,569</td><td></td></tr></table> 渡名喜村 (12,843千円) 備品購入費 6,655千円 備品購入費 6,188千円 (株)イレイ 6,655千円 消防防災(株) 6,188千円 急患搬送車購入業務 消防車購入業務				総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費	充当額	市町村負担金	12,843	12,843	10,274	2,569	
総事業費	交付対象事業費	交付金				交付対象外経費									
		充当額	市町村負担金												
12,843	12,843	10,274	2,569												
資金の 使途の 流れ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者については、指名競争入札により選定しているので選定方法は妥当である。 ○数社から事業内容の見積書を取得し、精査したうえで必要最小限の設計価格を予算規模としている為、無駄がなく適正である。 ○費目・使途ともに完了検査を実施した結果、必要なものに限定されている。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													